

変な人

小牧市立光ヶ丘中学校 1年

私の兄は、変な人。暇な時間があれば、すぐバスケ。冬でも日焼けをしているし、将来はバスケットボールと結婚するのかもしれないくらいバスケばかりやっている。むしろやりすぎだ。ギターが弾けるからって夜中に弾きすぎて、うるさくて毎回怒られるし、お風呂に入る時間も私より長い。

この人は本当に私の兄なのか。昔の兄はどこに行ってしまったのか。いつも守ってくれた兄はどこに行ってしまったのか。私は自分の目を疑う。

「おい。妹子、バスケしにいくぞ。」兄が暇なときは大体バスケに誘われる。

私はバスケより他のことをしたい。「あんたの時間に付き合っている暇はないんだけど…」と思いながら、結局バスケをやらされる。「また地獄の鍛錬が…」この人は、他の人には優しいのに、私だけにはうざいほど厳しい。「これが兄妹か…」といつも思う。ずっと我慢。

シュートが一発でも入らなかったら、ボールを私に投げってくる。これが普通に痛い。「今は令和だぞ。どういう教え方してるんだ」と、たまに思う。

「こんなのもできないのか、ちゃんとやれ。」兄はひどい。

「これだからバスケは嫌なんだよ。」兄のせいでバスケが嫌い。

「嫌い、嫌い、嫌い」大嫌い。

六年生の時、勤労センターで冬の大会があった。正直、勝つと思った。だけど妄想は叶わず、負けた。「これで終わり。」我慢して我慢して、涙が出ないようにずっと、歯を強く食いしめる自分。

解散して兄と目が合った。

「上手にできてたじゃん。」

優しい声だった。おかしいな…我慢してきたはずなのに。

兄の顔を見て、嬉しくて、安心して。涙が溢れる。

「勝ちたかった、負けたくなかった。」

どんどん溢れる。「あー。バスケってこんな楽しかったっけ。」私は思う。兄のおかげでバスケが好きになったと。

今では、兄は高校生になり、部活で忙しくて、全然バスケを一緒にやっていない。

私は後悔している。「もっと一緒にやっていたらよかった。」と。

私の兄は変な人。ギターを自慢してくるし、バスケばかりだし、髪の毛が短いくせに私よりもお風呂が長い。

私の兄は変な人。

私の兄は、たまに優しい変な人。